



名古屋大須ロータリークラブ

THE ROTARY CLUB OF NAGOYA-OSU WEEKLY REPORT

<本年度クラブ会長方針>

No. 1028

Ever Onward ~いつも前を向いて~



承認 1985年2月12日 例会日 木曜日 12:30 例会場 名古屋東急ホテル
 会長 小澤 幸男 事務局 名古屋市中区栄4丁目6番5号 丸越ビル6F
 幹事 太田 裕 電話 (052)251-0181 FAX (052)251-0337 〒460-0008
 URL <http://www.nagoya-osu.org> E-mail office@nagoya-osu.org

2008-2009年度 R.I. 会長

李東建 Dong Kurn Lee

Rotary International President

第1210回例会

雑誌月間

平成21年

4月9日(木)

於名古屋東急ホテル

会員 64名

出席計算数 54名中44名出席

出席率 80・70%

前々回出席率 80・00%

「奉仕の理想」

「ロータリーソング」

指揮者 鬼頭 茂成
 ピアノ伴奏 冨板 玲子

「ニコボックス」

今日も晴れました。 小澤 幸男
 又、ロータリーの友人に会うことが出来ました。感謝 岡部 快圓
 25年間ありがとうございました！

何か良い事ありますか？ 尾上 昇

5月28日友達を呼ぼう例会よろしく 近藤宏一郎

早くと娘から母の日のプレゼントと美味しいちらし寿司を作ってもらいました！ 松永 裕子

松永さんの子分になります。

先週誕生日をむかえました。ますます若返り、元気に一年を過ごしたいと思つてます。

結婚月です。 川口 小折

本日子供が初登園しました。 神野 邦利

川畑さん、こちらそつ様でした。 渡辺 観永

柴岡 正将

会長挨拶

会長 小澤 幸男



「パナー披露」

ソウル漢江RC / 韓国 松永 裕子



卓話

「25周年を迎えて」

設立時のエピソード 尾上 昇



「大須RCのルーツ」

浅井 隆宣

いきなりエピソードに入る前に、どうして大須RCが誕生したかを簡単に25年前のビデオを含めてご紹介し、続く尾上さん、岩崎さん、草野さん、吉田さん、浅野さんの前座を務めさせていただきます。古い会員の方には分かり切った話ですが、私の話の間違いないか確認いただければ幸いです。日焼けして黄色くなった「大須RC設立10年の歩み」をお手元にお届けしました。古い会員の方々は懐かしんでいただき、比較的新しい方々はそのルーツをご理解下さい。

逆のぼること約120余年前、シカゴでRCが産声をあげ、名古屋RC創立80周年の時、名古屋中RC創立15周年記念事業として、大須RCの設立が決まり、新クラブ大須RCの設立のための特別代表として、PGの大隈孝一君が決まりました。設立の手続きとしては名古屋中RC 2代会長で大須ついで会長の山田昇平君、プリンセスガーデンホテル社長天野道造君、オーケイン社長松岡浩一君、大須観音堂主岡部快圓君、高木歯科医院高木哲朗君の5人のキーマンが選任され、1984年12月3日の名古屋中RCの理事会で設立が承認され、1985年1月10日毎週例会会が栄3丁目のプリンセスガーデンホテルでスタート致しました。2月7日の設立総会の直後の2月12日には国際ロータリーの正式認証を得ました。これが認証状です。この間5日、記録的な早さでした。これも初代会長山田昇平君、幹事松岡浩一君の大変なご尽力の賜でした。大須RCの誕



生をお披露目するのが、RI加盟認証状伝達式(チャーターナイト)です。このチャーターナイトは1985年5月26日名古屋東急ホテルで900名近い方々の臨席を賜わって当時の会員57名で挙行いたしました。君付けで名前を申し上げましたのは当時はロータリーの呼称は全て君付けでしたから。チャーターナイトのビデオを持ってまいりました。なにして25年前のことピンポイントですが、ご理解の一助になれば幸いです。ご覧下さい。

「25周年を迎えて思うこと」

岩崎 征一

早いものでお世話になって25年当時私は40歳でした。名古屋JCを卒業時、当時公私共々お世話になっていました坂角えびせんの坂さん、中RCの安田さんの勧めで、この大須RCに入会させていただきました。

薄々はRCが社会奉仕活動と自己研鑽の場であることは判っていました。当時40歳という若さも手伝い、又、入会した時、顔見知りの方が数多くおみえになったこともあり、緊張感とか、真面目にRCの行事に取り組み姿勢に欠けていました。ただ単に楽しければよいという我侘が優先していました。

そんな考えの中でRCC生活が始まったわけですが、当時は2760地区とでは言わず、260地区、これは長野まで取り込んでいまして、西名古屋分区分とも言わずに尾張第一分区分と言ひ、20RCC、1724名の会員数でした。今は12RCCで1140名です。

エピソードといたしましては、色々とお話することが多くあります。家族とロータリーの係り、時間の観念とロータリー、チャーターナイトとその思い出、友人とロータリー、等がありますが、その中で友人とロータリーの係りで大変恥し入ることがあります。入会して1、2年経つてのことですが、当時は尾張第一分区分マージャン大会という活動が盛んで、年一回、八事の八勝館で約80人程の参加を得て開催されていまして。

その大会が私と萩原さんと尾下さん退会された石原さんの4人が大須RCC代表で参加を申し込んでおりました。私共全員、6時集合といつことで行動して行きました。

ところが当日、駐車場も満車状態で4人共何分か遅れて会場へ入って行きましたら、既に会は開催されておりました。6時開催を、6時集合と思ひ違いをしていました。ですから我々4人



は競技の中に参加できず、会場の片隅のマージャン卓で自分たちのルールで楽しくやるついでといつことになりました。ところが皆さんも「承知の通り、尾上さんは声が大きいし、石原さんはダミ声で声がよく通るし、萩原さんの声も同様で、そんな状況の中で、4人共我を忘れて楽しんでいました。

ところが、本来マージャンは紳士のゲームで、静かに品良く進めなければいけないのです。他のクラブの参加者から、いろんな理由で響きを買いました。まず、遅刻したこと、反省の色が無いこと、RCメンバーとしての品格の問題、大声で皆様に迷惑をかけたこと、等々です。

それが翌日既に大須RCC初代会長の須藤つるの山田昇平さんのところに知れ渡ることとなりました。大須RCC初めての大会に発展してしまい、山田昇平会長は当時の分区分代理に二度とこのような不祥事がないよう、誠意を入れることになってしまったとのことでした。

そして我々四人の内、何故か私と石原さんだけが山田昇平会長に大須つるの本社に呼ばれ、「コンコンとお叱りを受ける羽目になってしまいました。内容はRCCのイロハから始まりました。が、当時としては、私自身はたかがマージャンのことでごんなに言われることはない」と反発もありましたが、今思えば、やはり私の不徳のいたすところ、山田昇平さんの仰ることは尤もだと思っております。

25年経つても未だにこのことを思い出し、自分を戒めている出来事の一つをお話し致しました。

海外クラブ訪問

私の韓国での常宿 The Shilla (Shilla Hotel) の庭園はとてもレンギョウの花が綺麗な季節。たまたまその Shilla Hotel が韓国 (Seoul) の漢江 (ハンガン) ロータリークラブの開催場所。私は Make Up に出席してきました。



レンギョウ (連翹) 中国および東アジア原産の2〜3m程の落葉低木

松永 裕子

漢江 (ハンガン) ロータリークラブは、今年度RI会長の、李東建氏が在籍しておられるクラブで、会員は私たちのクラブの半分くらいでしたが、とても素敵な方たちでした。ランチは豪華な和風、松華堂弁当風のメニュー、韓国なのに何故か味付けは和食、アワビと松茸が入りとても美味しくて満足でした。

例会では、唐の時代の置物(馬)の話などをされていまして、エジプトのピラミッドからシルクロードを通り中国へ文化等の交流の真髄、そんな話でしたが、会話は全てハンゲル

残念ながら私にはハンゲルは分からないので理解できません(廻りから英語での通訳で理解) 偶然にも、韓国の



ロータリークラブの方々との交流が出来たことはHappyでした。

ロータリーミニ知識



「雑誌月間」 Magazine Month RIの公式機関誌『ザ・ロータリアン』および世界30の地域雑誌の購読と活用促進に役立つプログラムを実施する月間です。ロータリーの雑誌『ロータリーの友』(など) に対する会員の認識を深め、それによってロータリーの情報の普及を図ることが目的です。

クラブはこの月間中に雑誌に関するプログラムを実施しなければなりません。チェスリー・ペリー国際ロータリー初代事務総長によって創刊された『ザ・ナショナル・ロータリアン』(1912年に『ザ・ロータリアン』に改称)が発刊された1911年1月25日を記念して、当初1月25日を含む1週間を雑誌週間としていました。

『2001年手続要覧』の「ロータリークラブ定款」の「第13条ロータリーの雑誌」では、各会員は、会員身分を保持する限り、RIの機関誌、または国際ロータリー理事会から、本クラブに対して承認ならびに指定されている地域的なロータリー雑誌(日本では『ロータリーの友』)を購読しなければならない、と定めています。

RIでは毎年1月をロータリー理解推進月間に指定している。これは対外的には広報活動を通じて、対内的にはロータリー情報集会、討議、セミナーを通じてロータリーを推進するものである。

熱田区花道連盟「春の茶会」

ラウラ・フランチェスカ



ドイツからの留学生ラウラです



地域フリーペーパーにラウラさんのイベントの参加風景が掲載されました。

4月23日(木) 例会の案内

卓話

地区協議会報告

次年度 国際奉仕委員長 高木 政義さん

次年度 社会奉仕委員長 前田 隆久さん

次年度 クラブ奉仕委員長 太田 裕さん

帰国報告 元ロータリー財団奨学生 澤屋奈津子さん

4月30日(木) 例会の案内

定款第5条第1節により休会

広報委員会

杉本 英夫・木村 光徳
加藤巳千彦・佐々木 功